

会社OB会の臨時イベントとして、4月に「桜を見る会」を実施することになりました。

勝手に幹事役を買って出て企画を練り、周辺の下見に行ってきました。まず、桜を見る場所は、昨年台風・豪雨で被災した支援の名目で「長瀬」に決めました。次に、「前夜祭」の場所。当初、「長生館」を考えたが、なにしろ昭和天皇が宿泊したという格式高いところ、予算的にとても無理だろうと「身の丈に合わせて」長瀬の外れにある「養浩亭」にしました。ちょっと古い宿ですが、大広間もあって収容能力は十分。庶民的で融通も効きそうです。

会費は「5000円」にこだわりました。差額は、ふっこう割の国の補助金（旅行代金を1名1泊5,000円割引するもの）を利用する案で宿と折衝したが、この制度の有効期限が2月末で使えない。そこで宿の懇意の地元選出議員事務所で捻出してもらい、なんとか5000円を実現しました。あくまで宿のディスカウントとし、幹事が一人5000円を集金して宿名義の領収書を渡し、集金した現金はその場で宿に入金することとしました。

参加者は、OB会員のほか会に功績・功労のあった人や関係者を幅広く招待する。役員毎に招待者枠を決め、会長枠は30人で案内状の招待区分番号は「60」にこだわりました。なお、参加者名簿は終了後すみやかに廃棄処分とすることとします……。

この企画を練るにあたり、国の「桜を見る会」の「手法」が大変参考になりました。



・・・その後この企画は、新型コロナウイルスの影響で、残念ながら中止となりました。

これは、あくまで「冗談」です。しかし、国の「桜を見る会」ほど国民をバカにした話はないでしょう。どのように追及されようと、決して真実を語らず、意図的論点ずらしの答弁を延々と続け、官僚にも暗黙のうちに虚言を強いる。「森友・加計問題」から続く、虚偽、隠蔽、改竄、捏造、廃棄、権力の私物化、責任転嫁・・・絶対に間違いを認めず、答弁に合わせて現実の方が歪められていく。民主主義の崩壊です。これを再びうやむやにしたら、また同じことが繰り返され、悪性の「ウイルス」となって日本全国にばらまかれていくでしょう。「**新型USOウイルス**」、「**アベノウイルス**」とでも言うのでしょうか。いずれにしても、服従、沈黙、傍観、無関心が一番いけないと思います。

腹が立って仕方ないので、こんな「冗談」をしたための次第。気に障ったらお詫びします。